

<日商1級150回会計学 改題>

当期首において備品をリース取引によって調達した。当リース契約は解約不能であり、経済的耐用年数は6年、解約不能なリース期間は5年である。当社の追加借り入れ利率は8.36%、リース料は前払いで各期首に7,000円を普通預金で支払う。見積現金購入価額は32,000円

この場合の当期首、当期末、翌期首のリース債務に関連する仕訳を行いなさい  
端数四捨五入

	科目	金額	科目	金額
当期首				
当期末				
翌期首				

	科目	金額	科目	金額
当期首	リース資産	30,000	リース債務	30,000
	リース債務	7,000	普通預金	7,000
当期末	支払利息	1,923	未払利息	1,923
翌期首	未払利息	1,923	支払利息	1,923
	リース債務	5,077	普通預金	7,000
	支払利息	1,923		

<簿記論 74 回 個別問題より>

当社は、X23 年 4 月 1 日に車両 C を 26,076,830 円でリース会社に売却するとともに、これを次に示す条件でリースバックした。売却代金は当座預金口座に振り込まれた。

- (1) リースバックの条件
  - (a) 所有権移転条項なし。
  - (b) 割安購入選択権なし。
  - (c) リース物件は特別仕様ではない。
  - (d) 契約日(=リース取引開始日) X23 年 4 月 1 日
  - (e) 解約不能のリース期間 X23 年 4 月 1 日から X28 年 3 月 31 日まで
  - (f) リース料総額は 30,570,000 円である。リース料は、X23 年 9 月 30 日を初回として毎年 9 月末と 3 月末に各回均等額を当座預金口座から支払う。
- (2) リース会社の計算利率は年 6%であり、当社はこれを知りうるものとする。-
- (3) リースバック時以後の経済的耐用年数は 5 年である。リース資産の減価償却は定額法により行う。

端数は四捨五入

資産	事業供用日	取得原価	期首減価償却累計額	償却方法	耐用年数
車両	×22.4.1 日	30,000,000 円	5,000,000 円	定額法	6 年

以下の仕訳を行いなさい

	科目	金額	科目	金額
車両売却時				
リースバック時				
1 回目支払時				
2 回目支払時				
決算処理				

	科目	金額	科目	金額
車両売却時	車両減価償却累計額	5,000,000	車両	30,000,000
	当座預金	26,076,000	長期前受収益	1,076,830
リースバック時	リース資産	26,076,830	リース債務	26,076,830
1回目支払時	リース債務	2,274,695	当座預金	3,057,000
	支払利息	782,305		
2回目支払時	リース債務	2,342,936	当座預金	3,057,000
	支払利息	714,064		
決算処理	減価償却費	5,215,366	リース資産	5,215,366
	長期前受収益	215,366	減価償却費	215,366

所有権移転柿Fリース

貸手の購入価額と割引現在価値の低い方